

令和2年度 京都市立嵯峨中学校 学校教育目標

京都市の目指す子ども像

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を
創造する子ども

京都嵯峨学園教育目標

地域に学び、豊かな人間力を育む小中一貫教
育を目指す

学校経営方針

よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創る

- ① 新学習指導要領への理解を深め、教育活動全般において「学びの質」を高める
- ② 地域の人的・物的教育資源を有効に活用した「地域とともにある学校づくり」を推進するなかで、学びと社会のつながりを重視するとともに、「公共の精神」に基づく態度を育む
- ③ 質の高い教育活動の実践を目指し、教職員のプロ意識の向上を図るとともに、働き方改革を推進する

学校教育目標

嵯峨・嵐山・広沢地域の豊かな自然と文化の中で、**社会人基礎力** の育成を目指す

目指す生徒像

つながり、つたえ、つくりだす

- ① **【前に踏み出す力】** 何事にも挑戦し、最後までやり遂げる強い意志と身体をもつ生徒
- ② **【考え抜く力】** 自ら課題を発見し、自律的に解決することができる生徒
- ③ **【チームで働く力】** 多様な人々といっしょに、目標達成に向けて協力できる生徒
- ④ **【地域貢献】** 世界規模で考え、地域社会で活動できる生徒

目指す教職員像

教育者としての職責を自覚し、専門性を高める

- ① 目指す生徒像の実現のために、妥協することなく生徒と関わり続ける教職員であることを目指す
- ② 教育目標を理解・共有し、チーム（組織）の一員として行動する教職員であることを目指す
- ③ 自らもキャリアアップのために努力し続ける教職員であることを目指す

令和2年度 重点目標と詳細

① 新学習指導要領に対応した教育課程の編成と実施（授業改善とカリキュラムマネジメント）

- 新学習指導要領の理解と3観点評価に向けた準備
- 家庭学習の習慣化と日々の授業との連携（振り返りの重視とエスノートの活用）
- 各教科における「つながり」を意識した授業の工夫・改善（研究課題）
- 困りのある生徒の実態に応じた合理的配慮の実施（教育環境整備の重視）
- 「特別の教科 道徳」の実践（重点内容項目… B 礼儀, C 伝統と文化）
- 諸調査結果を活かした授業の改善
- 妥当性、信頼性に基づいた学習評価の実施（評価ソフトの活用、説明責任の実行）

② 小中一貫（京都嵯峨学園）教育活動の充実

- 小中一貫教育推進体制の強化
- 9年間を見通したカリキュラムマネジメント（小学校の学習内容の理解と関連の検討）
- 地域を含めた小中連携による授業・行事等の取組（「京都嵯峨学園」としての取組）の推進

③ 働き方改革の推進

- 各取組内容の精選と検証
- 時間外勤務縮減に向けた具体的な取組（時間外勤務 45 時間以内に向けて）
- 教職員の意識改革

令和2年度 研究指定

○国立教育政策研究所指定 令和2年度 教育課程研究指定校「数学（2年次）」

①教育課程全体に係る研究

（ア）数学的活動への取組を促し、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るための具体的な授業の在り方と評価方法等の実践研究（研究の中で、指導内容のつながりを意識した効果的な単元計画や評価計画の開発についても取り扱うこと）

○京都市教育委員会指定 令和2年度「伝統文化体験（華道・いけばな）事業」モデル実施校

○京都市教育委員会指定 令和2年度「子ども能楽大連吟」実施校

●京都市教育委員会指定 令和2年度「住育」推進校

※ ○ は継続しての取組 ● は新規の取組